

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-201	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	C I 183-902	Vivid English Communication I NEW EDITION		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現、文法などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。また、理解して活用すべき知識は、中学校までに学習するものも多く取り入れ、中学校での学習からスムーズな連携を図った。
- (2) 各レッスンの題材は、身近な事象について豊かな思考力を育める内容を中心とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるようになることにも留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の言語活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 英語と日本語の表現形式の違いなどに注意して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／言語活動	①高校生にとって身近で日常的な話題を中心としつつも、知的興味関心を喚起する内容も収録した。(第1号)	Lesson 1～9
	②チョコレートの歴史に関する知識を学び、好きな食べ物や飲み物の起源などを調べて発表する。(第1号)	Lesson 2
	③高校生の感性に訴えかけるストーリーを採録し、登場人物の機微を読み取りながら豊かな情操が培われるようにした。(第1号)	Lesson 6、 Optional Lesson
	④海外で努力し、日本の発展に貢献した北里柴三郎、津田梅子、渋沢栄一の人生を紹介した。(第2号)	Lesson 1
	⑤プロのeスポーツ選手になるための条件について読み取り、すぐれた選手になるために必要なことについて発表する。(第2号)	Lesson 4
	⑥社会を豊かにしうるテクノロジーである AI について理解する。(第3号)	Lesson 8
	⑦SDGs について理解し、サステナブルな取り組みについて考える。コンビニ等の24時間営業が遠因となっている環境問題について知る。また、海洋プラスチック汚染のメカニズムについて理解し、汚染拡大を阻止するための対策を考える。(第4号)	Lesson 5・7・9
	⑧国内外でのホスピタルアートの取り組みを知り、アートの持つ力について理解する。(第5号)	Lesson 3
	⑨太平洋戦争下での人々の暮らしについて知る。(第5号)	Lesson 6

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

--

- 本文への導入ページ、本文ページ、学習を深めるページという、一連の学習の流れをわかりやすくし、段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を、各パートにはパート別の学習目標を明示し、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに、後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の言語活動を行うかをわかりやすくするために、各言語活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた **Focus on Five Skill Areas** を設けた。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?** を設け、内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも、さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-201	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	C I 183-902	Vivid English Communication I NEW EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進
 - ・どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各 Part などに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Activity Plus はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
 - ・後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストも示した。
- 必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成
 - ・「英語コミュニケーション I」の五つの領域別の目標を実現するために設定した言語活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と言語活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
 - ・言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた Focus on Five Skill Areas を設けた。
 - ・Focus on Five Skill Areas は、日本語と英語の言語特性の違いなどといった「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を念頭にまとめた。
 - ・ウェブサイトやリーフレットなど、高校生が実際の生活で直面するであろうコミュニケーション場面を多く設定し、必然性のある言語活動となるように配慮した。
 - ・巻末には各レッスンに対応した Additional Lesson を設置しているが、各レッスンの五つの領域の言語活動を補足し、発展させるためのページである。
- 音声、語、文法事項などの「知識」は「活用」することを重視
 - ・巻頭付録の Warm-up では、中学校での学習事項を復習するとともに、知識を活用するタスクも用意した。
 - ・Exercises には文法事項を用いて状況に合った英文を完成させる問題も設置し、また、TRY は文法知識の活用を意識した活動とした。
 - ・Did You Know?では、題材関連語句を紹介しているが、Let's Try!などの表現活動において活用されることを想定したものである。
 - ・巻末付録「発音してみよう」は各音素の知識の提示だけでなく、動画を参考にしながら実際に発音してみる活動とした。
- 教科等横断的な視点に立った題材選定で、カリキュラム・マネジメントや ESD 教育に対応
 - ・教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
 - ・他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
 - ・本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ Did You Know?に、関連している他教科を示し、教科横断・教科連携型授業において活用しやすいようにした。
 - ・関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。レッスンの扉ページには関連する SDGs のアイコンも配置した。

本課の構成と特色

- (1) レッスン扉

- ・ **Key Words** : 英語を聞いて、キーワードについて話し合う活動。
- ・ **Vocabulary** : 本文に登場する重要語句の意味を考えて話し合う活動。
- ・ **Goals for Lesson 1** など : 「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「学びに向かう力・人間性の涵養」という観点別のレッスン全体の目標。

(2) 各 Part

- ・ 冒頭 : 本文のテキストタイプ。(一部の Part のみ)
- ・ **Goals for Part 1** など : 「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」の観点からの各 Part の目標。
- ・ 冒頭の問いかけ : この問いかけへの解答は、各 Part のまとめである **Comprehension** の内容である。
- ・ リード文 : レッスン全体の中心的な話題に関する問いかけや、場面設定の提示。
- ・ 本文 : さまざまなテキストタイプの本文を読む活動。行間の「G」は **Grammar** で取り上げた内容を、「F」は **Focus on Five Skill Areas** で取り上げた内容であることを示す。
- ・ 側注部および脚注部の「Q1」など : 本文の要点を確認する問題。
- ・ 脚注部の「T / F」 : 本文の要点をリスニングによって確認する問題。
- ・ 脚注部の新出単語 : 固有名詞等は異なるフォントを用いて、他の語と区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・ 脚注部の重要表現・固有名詞等 : 意味や説明を提示した。
- ・ **Comprehension** : 読んだ本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **Grammar** : 文法事項のまとめと例文。
- ・ **CHECK** : 文法事項の理解を定着させる問題。
- ・ **Let's Try!** : 本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。活動のヒントを適宜提示。

(3) Did You Know?

- ・ 本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。関連する他教科や **SDGs** も提示。

(4) Reproduction

- ・ **Goal for Reproduction** : 「思考力・判断力・表現力」の観点からの目標。
- ・ 本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **TIPS** : 本文のテキストタイプなどを解説したコラム。

(5) Activity Plus

- ・ **Goal for Activity Plus** : 「思考力・判断力・表現力」の観点からの目標。
- ・ 各レッスンの学習を深めるページとして、この言語活動はレッスン全体を総括するような「レッスン課題」としている。聞いた内容をもとに自分の意見を書いてまとめ、伝える [伝え合う] という段階的な活動とした。活動のヒントを適宜提示。

(6) Exercises

- ・ **Goal for Exercises** : 「知識・技能」の観点からの目標。
- ・ A 問 : 重要表現の理解を空所補充によって確認する問題。
- ・ B、C 問 : 与えられた状況に適した英文やイラストを表す英文を完成させる問題で、文法知識を活用する活動。
- ・ **TRY** : 文法知識を活用して話したり書いたりする言語活動。

(7) Focus on Five Skill Areas

- ・ 五つの領域の活動に役立つ英語の特徴などをまとめたページ。

その他の特色

- 生徒の自学自習への配慮 (二次元コードや URL から動画・音声の視聴が可能)
- 中学校での学習からの円滑な接続 (基礎基本を重視。中学校での学習事項を積極的に収録)
- カリキュラム・マネジメント対応 (各 Part 見開き 2 ページで、余裕のある組織的な授業計画が可能)
- 特別支援への目配り (学習内容を視覚的に示すアイコン、学習要素の提示方法や位置を基本的に固定)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Lesson 1～9、Optional Lesson、Additional Lesson ①Key Words 英語を聞き、各レッスンのキーワードを予想して、それを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、イ、エ 3 内容の取扱い (1)	p.11、25、39、53、 67、81、97、113、 129、145	別表
②Vocabulary 本文に登場する重要語句の意味を考えて話し合う活動。	2 内容 (1) ウ (2) ア、イ、ウ (3)① ア 3 内容の取扱い (1)、(2)	p.11、25、39、53、 67、81、97、113、 129、145	
③各 Part (本文、Q、T/F、Comprehension) Reproduction さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取り、要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (1) イ (2) ア、イ (3)① ア、ウ (3)② ア、イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.12-17、20、26-31、 34、40-45、48、54- 57、60-62、68-69、 72-76、82-85、88- 92、98-105、108、 114-115、118-124、 130-135、138-140、 146-165	
④各 Part (脚注部の語、連語・慣用表現)	2 内容 (1) ア、ウ 3 内容の取扱い (2)	p.12、14、16、26、 28、30、40、42、44、 54、56、60、68、72、 74、82、84、88、90、 98、100、102、104、 114、118、120、 122、130、132、 134、138、146-155、 157-165	
⑤各 Part (Grammar) Exercises 文構造・文法事項のまとめ。連語・慣用表現、文構造・文法事項を活用する活動。	2 内容 (1) ウ、エ (別表参照) 3 内容の取扱い (2)	p.13、15、17、22- 23、27、29、31、36- 37、41、43、45、50- 51、55、57、61、64- 65、69、73、75、78- 79、83、85、89、91、 94-95、99、101、 103、105、110-111、 115、119、121、 123、126-127、131、 133、135、139、142- 143	
⑥各 Part (Let's Try!) 本文を読んで得られた情報を利用して、自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、エ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.13、15、17、27、 29、31、41、43、45、 55、57、69、73、75、 83、85、89、91、99、 101、103、105、 115、119、121、 123、131、133、 135、139	
⑥各 Part (Let's Try!) 本文を聞いたり読んだりして得られた情報を利用して、自分自身の考えなどを話して伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、オ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.158-159、161、 163、165	
⑧各 Part (Let's Try!) 本文を読んで得られた情報を利用して、自分自身の考えなどを書いて伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、カ (3)② イ (別表参照)	p.61、157、160、 162、164	

	3 内容の取扱い (1)	
⑨Activity Plus 本文を読んだり英文を聞いたりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを書いて伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、イ、カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.21、35、49、63、77、93、109、125、141
⑩Activity Plus 本文を読んだり英文を聞いたりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを話して伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、イ、オ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.21、35、77、109
⑪Activity Plus 本文を読んだり英文を聞いたりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、イ、エ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.49、63、93、125、156
⑫Focus on Five Skill Areas 英語の特徴などのまとめ。	2 内容 (1) ア (別表参照) (3)① ア、イ、ウ、エ、オ、カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1) (2)	p.8-9、23、37、51、65、79、95、111、127、143
2. 発音してみよう	2 内容 (1) ア	p.166-169
3. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.172-175

<別表> L : Lesson / OL : Optional Lesson / AL : Additional Lesson / P : Part

課	タイトル 内容 (関連教科など)	・文構造・文法事項 ・英語の特徴など	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
	Warm-up	・品詞 ・日本語と英語の語順の違い ・英文の基本的な骨組み ・句読法		2
	Focus on Five Skill Areas 0	・「やり取り」や「発表」を充実させるために	・相づちを打つ／驚く／聞き直す／質問する／話題を発展させる／理由を述べる	1
L1	The Symbol of a New Era 新紙幣の肖像となった人物たち (地理歴史、公民)	・現在・過去 ・未来 ・助動詞 ・意味のまとめ	・新聞記事 (P1) ・要約する／説明する／描写する	6
L2	I Was Drinking Chocolate! チョコレートの歴史 (地理歴史、公民、家庭、SDGs)	・進行形 ・不定詞 ・動名詞 ・英語の音の特徴①	・プレゼンテーション (P2) ・要約する／説明する／質問する	6
L3	Welcome to the World of Hospital Art 国内外におけるホスピタルアート	・S+V+O (=that-節) ・現在完了形 ・受け身 ・英語の音の特徴②	・対話 (P1) ・要約する／説明する／描写する／質問する	6
L4	Esports' Time Has Arrived	・比較 (比較級・最上級)	・Q&A サイト (P3)	6

	e スポーツの発展と特徴 (情報)	<ul style="list-style-type: none"> 比較 (原級) S+V+O+to-不定詞 指示語が指す内容 	<ul style="list-style-type: none"> 要約する / 描写する / 説明する 	
L5	Go Sustainable! サステナブルな取り組み (SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 現在分詞 過去分詞 It is ... (for A) to ~ 言語の働き (説明・描写) 	<ul style="list-style-type: none"> 対話 (P1) 要約する / 説明する / 質問する / 相づちを打つ 	6
L6	<i>In this Corner of the World</i> 『この世界の片隅に』はどのようなストーリーか (地理歴史、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了進行形 関係代名詞 (主格) 関係代名詞 (目的格) S+V+O (=疑問詞節) 言語の働き (相づち、聞き直し) 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ (P3) 聞き直す / 相づちを打つ / 要約する / 依頼する 	7
L7	Should Stores Stay Open for 24 Hours? 24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史 (公民、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> S+V+O+O (=that-節) 助動詞+受け身 関係代名詞 what 過去完了形 言語の働き (質問、共感、驚き) 	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッション (P4) 要約する / 質問する / 共感する / 主張する / 提案する / 賛成する / 説明する 	7
L8	Our Future with Artificial Intelligence AIの特徴や活用事例 (公民、情報、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> some / others 分詞構文 関係副詞 (where、when) 関係副詞 (why、how) ディスコースマーカー 	<ul style="list-style-type: none"> グラフ (P1) 要約する / 描写する / 説明する 	7
L9	Stop Microplastic Pollution! 海洋プラスチック汚染の実態 (理科、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> S+V+O+C (=原形不定詞) S+V+O+C (=現在分詞) 条件を表す if-節 仮定法過去 パラグラフの構造 	<ul style="list-style-type: none"> SNS (P1) 要約する / 説明する 	7
OL	A Retrieved Reformation 金庫破りをやめた主人公が最後にとった行動とは		<ul style="list-style-type: none"> ストーリー 	6
AL1	Banknotes in Australia		<ul style="list-style-type: none"> プレゼン資料 	1
AL2	Let's Buy Fair-trade Chocolate!		<ul style="list-style-type: none"> リーフレット 	1
AL3	How to Change Hospitals into Comfortable Places		<ul style="list-style-type: none"> 雑誌記事 	1
AL4	Welcome to an Esports Tournament!		<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト 	1
AL5	Visit Shiretoko and Learn About Its Nature and Culture		<ul style="list-style-type: none"> リーフレット 	1
AL6	Japanese Students Appeal for World Peace		<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事 	1
AL7	The Changing Meaning of "Convenience"		<ul style="list-style-type: none"> グラフ 	1
AL8	Machine Translation: No Need to Learn English?		<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト 	1
AL9	A Boy Helps to Solve the Microplastic Problem		<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト 	1
	発音してみよう			1
			計	77